



2021年5月12日

各 位

上場会社名 株式会社 東京機械製作所
 代表者 代表取締役社長 都並 清史
 (コード番号 6335)
 問合せ先責任者 経理部長 米本 裕至
 (TEL 03-3451-8143)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年2月26日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,510	△50	110	90	10.31
今回修正予想(B)	10,890	140	390	300	34.37
増減額(B-A)	380	190	280	210	
増減率(%)	3.6	—	254.5	233.3	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	11,799	△1,163	△1,077	△998	△114.22

修正の理由

2021年3月期連結会計年度の業績につきましては、連結営業利益の確保に向け、当社グループ全体における人件費の抑制や経費の削減の取組みを徹底いたしました。

当社のオフセット輸転機事業は受注環境が厳しい中、原価率が予想値を上回り苦戦を強いられました。一方、保守サービス事業は、コロナ禍の影響を受けながらも、工事日程の見直しを行うなどした結果、計画を上回る売上高、利益を確保出来る見込みとなっております。

また、連結子会社におきましても、株式会社東機システムサービスは計画を上回る売上高と人件費の抑制により営業利益増加の見込みであり、株式会社KKSも、人件費の抑制や、定期保険の解約による受取保険金が発生した結果、営業利益ならびに経常利益の増加に繋がっております。

加えて、為替相場の円安が進んだことなどにより、計画と比べ売上高ならびに利益面で予想を上回る見込みです。

これらの要因により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の予想を上方修正いたします。

(注)上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上